

PLAZA IMS

春号 Vol.71
板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気になる情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



< 理念 >

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

< 基本方針 >

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。
4. 私たちは、情報技術を最大限に駆使して「未来から選ばれる病院」を目指します。
5. 私たちは、病院内に痛みや苦しみがなくなるように全力を尽くします。



◀ 板橋中央総合病院公式 LINE アカウント



◀ 板橋中央総合病院公式チャンネル「Ita Tube」 YouTube

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩 1 分

03-3967-1181 (代表)

<https://ims-itabashi.jp/>



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ



STEP 1 相談 GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を! 相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2 情報提供 IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

STEP 3 受診決定 ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定! 【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)・対象者さま基本情報等の連絡 【入院(所・居)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック 検索



gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。

0800-800-1632

※【050】からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 / 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

CONTENTS

小児科

ご家族と共に子どもの
健やかな成長をサポートいたします

こどもの頭のかたち外来

Itachu News

ご家族と共に子どもの健やかな成長をサポートいたします

板橋セントラルクリニック小児科では診療や予防接種、乳幼児健診を通じて
地域のご家族・子どもの健やかな成長をサポートするため優しく丁寧な診療や入院診療を行っています。

大和田 淳也 先生



副院長
高橋 昌里 先生



小児科主任部長
齋藤 宏 先生



佐藤 和佳奈 先生



佐藤 義剛 先生



横倉 友諒 先生

Topics1

小児リハビリテーション

主に小児部屋にて週に1、2回1対1で40分程度、おもちゃを用いてリハビリテーションを実施しています。

●他のお友達とのやりとりが苦手なお子さま、ことばの遅れが気になるお子さまは、小児心理士による発達評価や面談と併せて、サポートさせていただきます。

- 乳児で「寝返り」「お座り」「ハイハイ」「ひとり歩き」などの大きな運動の遅れが気になるお子さまは、ひとり歩きが確立するまでサポートさせていただきます。
- 食事でのスプーン操作やボタン・紐を結ぶなど細かい手の動きが苦手なお子さまは、目標年齢相当の微細運動が可能になるまでサポートさせていただきます。



Topics2

小児心理カウンセリング

—小児科の臨床心理士がサポートいたします—

小児臨床心理士が、発達評価、日常生活指導、カウンセリングなど対応しております。

また、発達障害、不登校、ADHD、心身症などに対する各種知能検査や人格検査、認知機能検査、自閉症スペクトラム障害の補助診断検査、ペアレントトレーニングや心理カウンセリングなども行っております。

診療日

金曜日午前・午後
土曜日午前

※2023年4月1日現在

Pick Up

こどもの頭のかたち外来

小児科医と脳神経外科医が連携を取りながら、赤ちゃんの頭のかたちのゆがみを診察します。



板橋セントラルクリニック
小児科
医師 **森岡 一郎**
日本大学医学部小児科・新生児科 主任教授

頭のゆがみの原因は様々ですが、多くは妊娠中や出生後の向き癖による外因性の変形（頭位性斜頭、短頭）で、その程度や対応は月齢によって変わってきます。体位によっておこる頭のゆがみは、ヘルメットによる頭蓋形状誘導療法が適応になることがあります。生後3～6か月までの治療開始が推奨されていますが、6か月以降の方も対応となる場合があるためお気軽にご相談ください。

診療日 火曜日 午後
受付時間 12:40～15:30
診療時間 14:00～16:00

小児科 HP



Q 赤ちゃんの頭はなぜゆがむのか？

赤ちゃんの頭は脳が大きく成長できるように、やわらかい状態になっています。そのため胎内での姿勢や生まれた時の状況、生まれた後の体位や向きぐせなどにより頭の形がゆがんでしまうと考えられます。

真上に仰向けで寝ることが多い方は短頭傾向になります。いわゆる「絶壁頭」は、短頭症に分類されることが多いです。長頭症とは、頭頂からみて、頭の幅に対して前後が長く見える形です。真横に寝ることが多い方は長頭傾向になります。

Q 頭の変形にはどんな種類がある？

斜頭症（ゆがみ）、短頭症、長頭症の大きく3つに分類されます。斜頭症とは、頭のどちらか片方が平坦になり、頭頂からみると左右非対称に見える形です。左右の向きぐせが強い方は斜頭になりやすい傾向があります。短頭症とは、頭頂からみて、頭の幅に対して前後が短く見える形です。

Q 頭がゆがんでしまった際の治療方法は？

1. 体位変換を行う方法
2. 枕を用いる方法
3. ヘルメットを用いる方法
などがあります。

Q ヘルメットによる治療はどのような流れなのでしょうか？

頭のゆがみが強い場合は、頭のゆがみを改善するために頭蓋形状矯正ヘルメットを利用する方々も増えています。ヘルメットで頭の扁平化した部分に空間を作り、突出した部分の伸びを抑えることで矯正していきます。国内外の論文で治療効果があることは多数報告されており、頭のゆがみが重度の場合でも対応できる治療法となっています。

① 頭のゆがみの重症度を判定

問診や視診、測定により頭のゆがみ度合いを測定し、ヘルメット治療の適応を判断します。ノギスを用いて頭の形のゆがみを計測します。CT検査を行う場合もあります。



頭部 CT 検査

当院の頭部 CT 検査は、最先端のフォトンカウンティング CT を使用しており、お子さまがほとんど被曝することなく診断が可能です。（自然放射線による1日被曝線量同等です）。



急性期の総合病院ではアジア初のフォトンカウンティング CT「NAEOTOM Alpha」
国内で3例目！

② ヘルメット治療の実施を決定

③ 3D スキャンカメラ

3D スキャンカメラにより、精密な解析、評価を行います。

④ ヘルメット装着（治療開始）

⑤ 経過観察（2～6か月）

⑥ 卒業

採用ヘルメット製造販売業者
株式会社 Berry
babyband（ベビーバンド）





「手術数でわかるいい病院2023」に、
当院の治療実績がランクインしました！



ロボット手術数 全国ランキング

前立腺がんロボット手術数 **15位** 肺がんロボット手術数 **19位**

前立腺がん治療数ランキング

関東 **25位** 全国 **38位**

板橋中央総合病院 2023年度の祝日診療のお知らせ

2023年 5月3日(水・憲法記念日) 9月18日(月・敬老の日)
2024年 1月8日(月・成人の日) 2月12日(月・振替休日)

上記の4日程は、祝日診療を行います。

祝日診療は通常の診療費に加え、休日加算が追加されます。
あらかじめご了承ください。

各診療科で急な休診などの変更がございましたら、HPや院内
掲示にてお知らせいたします。



人間ドック・健診キャンペーンの情報は 地域健康相談室まで

2023年度の健診情報は、当院HPや院内掲示をご確認ください。
祝日診療日はもちろん、日曜日に実施するキャンペーンも多種類ご用意
しております。

詳細・ご予約は地域健康相談室へご連絡ください。

HPで内容カクニン▼



B館1階 地域健康相談室 ☎03-3967-1181(代表)

ホスピタルズファイルに4診療科記事を掲載

先日『ホスピタルズファイル』に泌尿器科、
呼吸器外科、臓器移植センター、放射線治療科の
取材をしていただきました！その記事取材内容を
基に診療科紹介とトピックス記事を掲載！
ぜひご覧ください！



シャトルバスの運行エリアを 一部廃止いたします

2023年4月1日より運行エリアを一部廃止いたします。
[廃止エリア] 板橋中央総合病院→高島平中央総合病院
高島平中央総合病院→板橋中央総合病院
これに伴い、2023年4月1日から時刻表を改定させて
いただきます。

新しい時刻表はこちらをご覧ください！



院内では引き続きマスク着用を お願いいたします

2023年3月13日以降マスク着用について
見直されていますが、医療機関内はマスク
着用が推奨されていますので引き続きマス
ク着用をお願いいたします。

